

けやうと思召て、汝をお選びになつたのですから、汝は其存念で新しい會を創立よ、而して此會にメルシ、即ち哀みといふ名を命よ」と、お告になりました、然し聖人は謙遜の徳の厚い御方でしたから、萬一や之は悪魔の所業ではなからうかと案じて、「如何して御身は天主様の聖慮を知りましたか、又私のやうな卑賤者が如何して天主様の聖慮を遂げる事が出来ませうか」と尋ねられました、スルと聖母は「吾は救世主の母マリヤである、汝は我子に對して愛を表す爲に、我子に倣ふて基督信者を救けねばならぬ」と、再び御告になりました、聖人は大に喜び、早速其弟子のヤコブ王子に其由を傳へますと、王子は驚いた様な様子をして、「丁度、吾も全様なお示を蒙りました」と言はれました、夫で今度も又友達の聖レモンドにも之を知らしめました、此お方も矢張天主様から全様なお示を蒙られたといふ事が分りましたので、最早少しも疑ふ餘地も無いから、其準備に取懸りました、間も無く此國の大天主堂で嚴かな式を擧げ、多數の司祭信者の前で、ノラスコの聖ベ

トは大司教様の手から、行者の服を領けられました、是は即ち捕虜を贖ふ爲の哀會の最初であつて、此時二人の公卿も、共に其會に入りました、而して普通の行者は貧窮と従順と、不犯の三の誓を立てるのですが、此哀會に限つて、此上に尙一つ回々教徒に捕虜と成つて居る人々を救助る爲に、必要の場合には、我財産は勿論、我生命までも、献げるといふ誓を立てるのであります。

次郎「我生命を献げるといふのは。

靈父「是は此會の行者は場合に依ては、身替となつて其捕虜を助けねばなりませんでしたからです、而して此哀會の最初の修院は王子の望に従ふて、其海岸に建られました、是は王様が度々聖人の許に来て、種々の意見を聞かうといふ希望がありましたからです、夫で此修院の中に自分の居間をも設けられました。

間も無く此哀會の事が世間に傳つたので、大勢の行者等が、四方八方から集つて来て、此修院に入り、種々修業して、後回々教徒の居る所へ行つて、捕虜を



買戻す事業に勉める様になりました、而して最初に寄附金を募つて、約四百人の捕虜を救助事が出来ました。

次郎「此哀れな捕虜は皆我家へ歸る事が出来て嬉しかったでせう。

聖父「然です、併し其捕虜よりも、尙可哀相な者がありました、即ち其時回々教徒の手下となつて働いて居つた海賊が、亞非利加の北部にある港を根城として、航海中の多くの船を捕へて、其貨財を掠奪り、尙其乗組の船頭も船客も皆捕虜にして居りました、此不幸な人々は捕へられて、様々の酷い目に遭はれて居りましたから、哀會では之を助けやうとして、或時聖人は數人の行者を従れて、海を渡つて、アルゼといふ港に着かれました、此港には其不幸な捕虜が多數牢獄に收容されて居りました、聖人は直に敵の所に行つて、彼等不幸な者を贖ふ爲に、いろ／＼協議して居りました所が、捕虜の中の數人は其協議の済むのを待兼ね、番人の目を忍んで密に逃しました。

の捕虜を救けられました。

其後聖人、ヤコボ王に向つて、天主様は屹度王様に勝利を與へて下さるといふ事を申されましたので、此王は聖母マリアの御保護を願ひ、聖人の言葉を信じて、回々教徒と屢々戦争をして、終に彼等に取りられた土地を、漸次に取返すやうになりました、而して天主堂は皆一時回々教の會堂に居りましたので、聖會の式を以て之を淨め、再び天主堂とし、其軍隊と共に此聖堂で天主様に向ひ勝利を感謝しました。

聖人は斯く多大の功績を立て、後其死期が來たのを知られましたので、其部下の行者に掩視を爲し、尙弟子の玉に遺物を贈つて、立派に此世を去られたのであります。

太郎「私は此聖人が多くの不幸な捕虜を助けられた聖人ですから大好です、又ヤコボといふ王様も能く此聖人に服従ひましたから好きです。俊子「此王様は聖人に教育せられたので、立派な信者になつたのでせう。



俊子「其様な事を爲るのは良くないですなア。聖父「然です、夫が爲逃げた者の罪は、行者等の上にかゝつて來て皆償者の如に見做され、様々の無禮な仕打に遭ひました、後には其行者等の耐忍に感じて、或條件を付けて、西班牙に歸る事を許しました、其條件といふのは聖人一人が國に歸つて賞金を持つて來る迄他の行者等を人質とするといふ事です。

太郎「人質といふのは何ですか。聖父「夫は人々が或大切な約束をして、其約束を決して違へないといふ証據に、其間自分の身に他人を殘留する事です、左れば聖人は國に歸る爲に急ぎ船に乗られました、此時折悪く大暴風で、柱折れ穴が開いて、今にも沈没せんとする有様でありました、併し天主様は此忠實な下僕の事をお失念なく、直様順風を起して下さつたので、意外にも早く西班牙のワランスといふ港に歸る事が出来ました、而して聖人は多衆の熱心な歓迎を受け、瞬間に敵が要求しました金が集りましたので、再び海を渡つて、アルゼに行き人質を受取、多數

聖父「左様です、夫で皆様も此聖人の御傳達に由て、天主様に斯云ふ事をお願なさい、「私等は折角父母によく教育して頂くのですから、何卒其教育のお蔭で、良い信者に成して下さいます。次郎「聖父様今日で一月の聖人の物語が済みました、其中に私の待兼ねて居つた日本の聖人が有ませんでしたなア。

聖父「左様です、今日までに早や三十人餘の聖人のお話をして、皆様の利益になる、良き模範を見せました、毎日よく飲席ますにお出でになつて結構でした、夫で明日からは二月の聖人の物語です、殊に楽しみに待つて居られた日本の致命人の物語も五日からお話ししますから、何卒皆様續いてお越なさる様に願ひます。



買戻す事業に勉める様になりました、而して最初に寄附金を募つて、約る四百人の捕虜を救助事が出来まし

た。次郎「此哀れな捕虜は皆我家へ歸る事が出来て嬉しかつたでせう。

靈父「然です、併し其捕虜よりも、尙可哀相な者がありました、即ち其時回々教徒の手下となつて働いて居つた海賊が、亞非利加の北部にある港を根城として、航海中の多くの船を捕へて、其貨財を掠奪り、尙其乗組の船頭も船客も皆捕虜にして居りました、此不幸な人々は捕へられて、様々の酷い目に遭はれて居りましたから、哀命では之を助けやうとして、或時聖人は數人の行者を従れて、海を渡つて、アルゼといふ港に着かれました、此港には其不幸な捕虜が多數牢獄に收容られて居ました、聖人は直に敵の所に行つて、彼等不幸な者を贖ふ爲に、いろ／＼協議して居られました所が、捕虜の中の數人は其協議の濟むのを待兼ね、番人の目を忍んで密に逃しました。

の捕虜を救けられました。

其後聖人、ヤコゴ王に向つて、天主様は屹度王様に勝利を與へて下さるといふ事を申されましたので、此王は聖母マリアの御保護を願ひ、聖人の言葉を信じて、回々教徒と屢々戦争をして、終に彼等に取られた土地を、漸次に取返すやうになりました、而して天主堂は皆一時回々教の會堂に居りましたので、聖會の式を以て之を淨め、再び天主堂とし、其軍隊と共に此聖堂で天主様に向ひ勝利を感謝しました。

聖人は斯く多大の功蹟を立て、後其死期が來たのを知られましたので、其部下の行者に掩祝を爲し、尙弟子の王に遺物を贈つて、立派に此世を去られたのであります。

太郎「私は此聖人が多くの不幸な捕虜を助けられた聖人ですから大好です、又ヤコゴといふ王様も能く此聖人に服従しましたから好きです。俊子「此王様は聖人に教育せられたので、立派な信者になつたのでせう。



俊子「其様な事を爲るのは良くないですなア。靈父「然です、夫が爲逃げた者の罪は、行者等の上加つて來て皆僞者の如に見做され、様々の無禮な仕打に遭ひました、後には其行者等の耐忍に感じて、或條件を付けて、西班牙に歸る事を許しました、其條件といふのは聖人一人が國に歸つて賞金を持つて來る迄他の行者等を人質とするといふ事です。

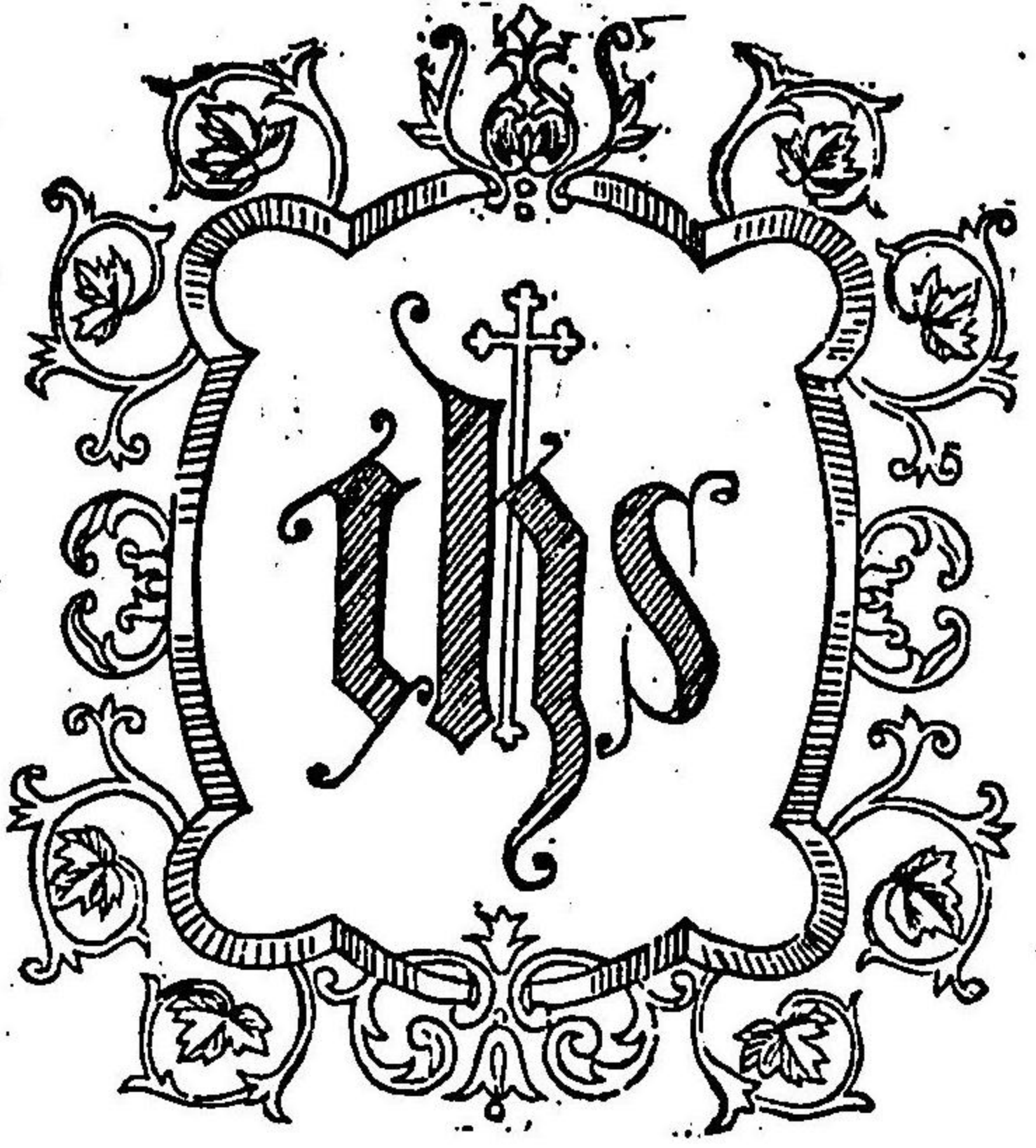
太郎「人質といふのは何ですか。靈父「夫は人々が或大切な約束をして、其約束を決して進へないといふ証據に、其間自分の身代に他人を殘留く事です、左れば聖人は國に歸る爲に急ぎ船に乗られました、此時折悪く大暴風で、柱折れ穴が開いて、今にも沈没せんとする有様でありました、併し天主様は此忠實な下僕の事をお失念なく、直様順風を起して下さつたので、意外にも早く西班牙のワランスといふ港に歸る事が出来ました、而して聖人は多衆の熱心な歓迎を受け、瞬間に敵が要求しました金が集りましたので、再び海を渡つて、アルゼに行き人質を受取、多

靈父「左様です、夫で皆様も此聖人の御傳達に由て、天主様に斯云ふ事をお願なさい「私等は折角父母によく教育して頂くのですから、何卒其教育のお蔭で、良い信者に成して下さいと。

次郎「靈父様今日で一月の聖人の物語が済みました、其中に私の待兼ねて居つた日本の聖人が有ませんでしたなア。

靈父「左様です今日までに早や三十人餘の聖人の物語をして、皆様の利益になる、良き模範を見せました、毎日よく缺席ますにお出でになつて結構でした、夫で明日からは二月の聖人の物語です、殊に楽しみに待つて居られた日本の致命人の物語も五日からお話ししますから、何卒皆様續いてお越なさる様に願ひます。





明治四十三年四月廿八日印刷  
明治四十三年四月三十日發行

(定價金貳拾五錢)

大阪市北區北野小松原町天主公教會内

公教宣教師

著者兼 發行 者兼 シルベン、ブスケ

大阪市東區紀伊國町二百三番地

印刷人 戸澤東太郎

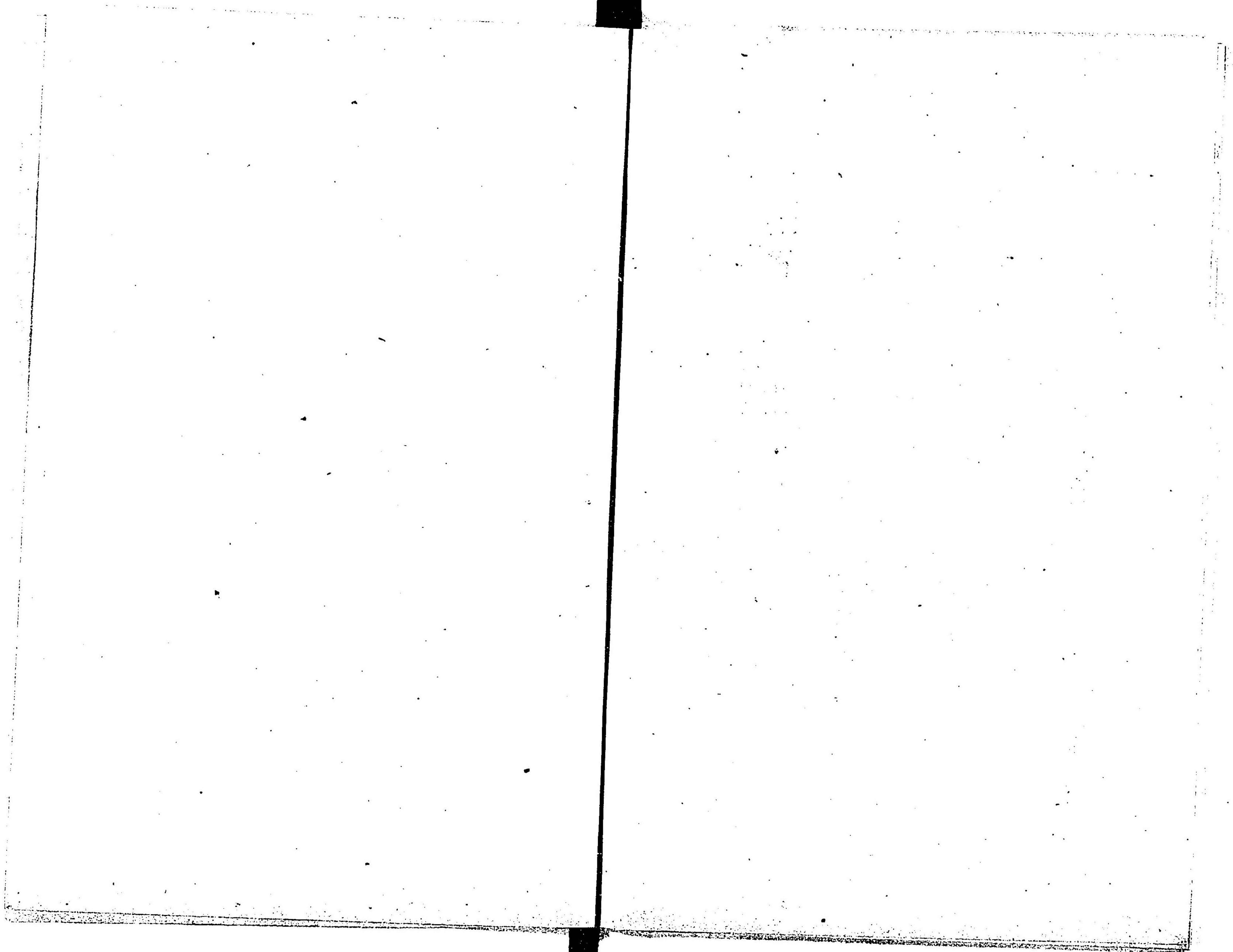
大阪市東區紀伊國町二百三番地

印刷所 聖若瑟教育院活版部



不復製許







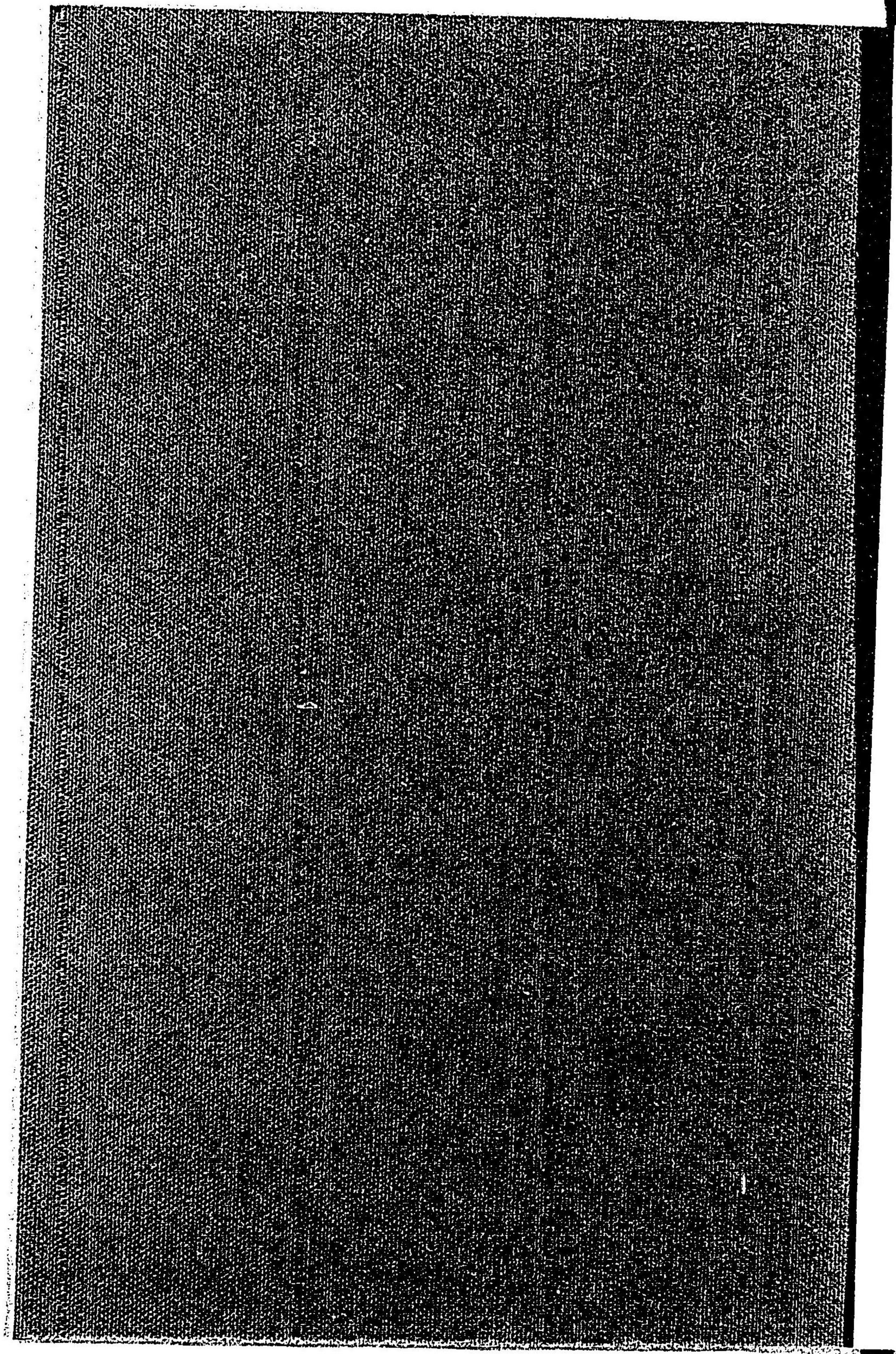
265

40

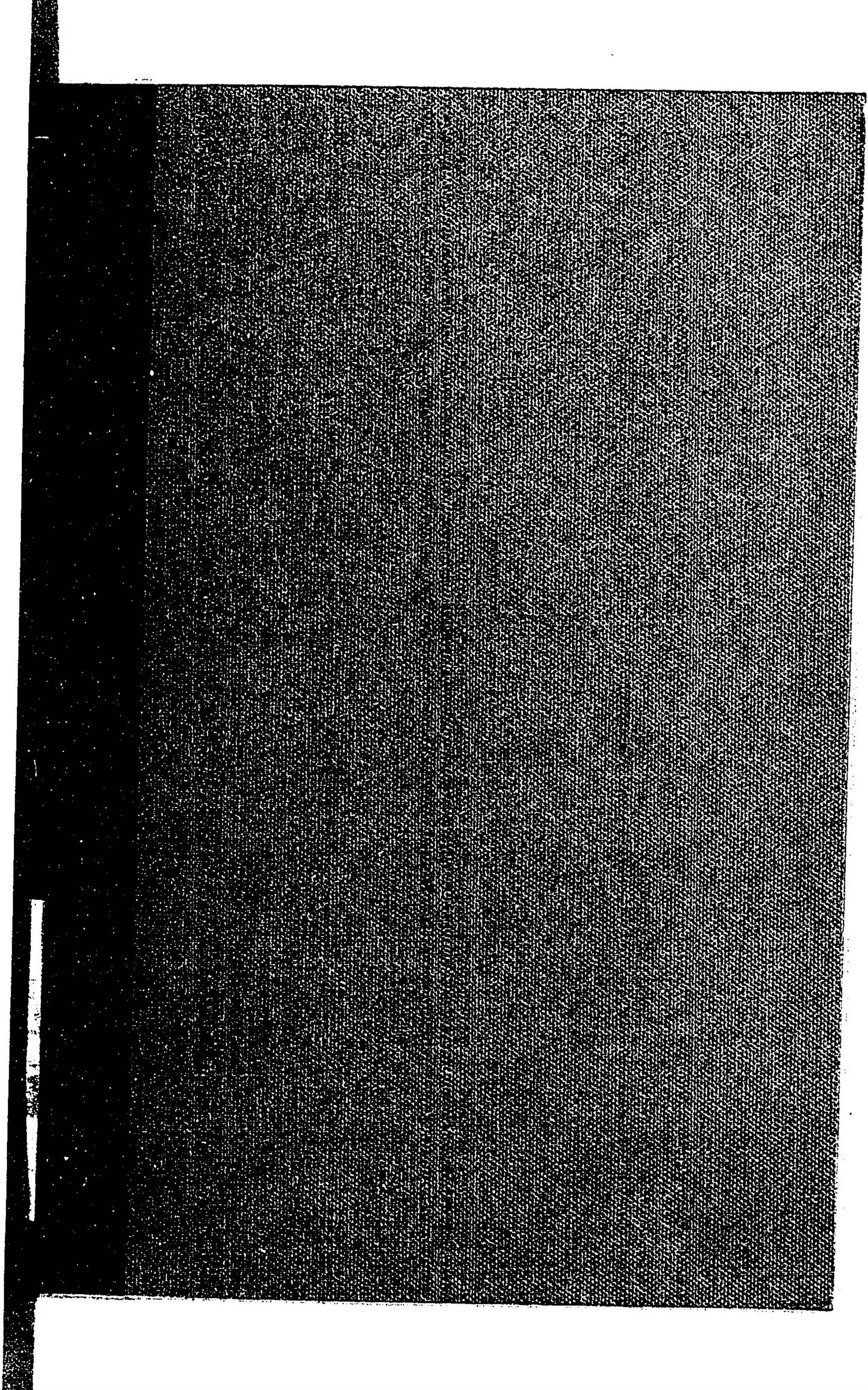














特 21  
805

020923-001-0

特21-805

聖人物語 1月之巻, 2月之巻

シルベン・ブスケノ著

1冊(147)

M43

ABI-0771





